




論文審査の結果の要旨

| | | | |
|---|-------------------------------------|---|-------|
| 報告番号 | 博(医歯薬)甲第 757号 | 氏名 | 川崎 涼子 |
| 学位審査委員 | 主 査 前田 隆浩 副 査 大園 恵幸 副 査 本田 純久 |    | |
| <p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、医療資源の乏しいアマゾン川流域で実施されたコミュニティヘルスワーカーを対象としたブラッシュアップ研修の効果について、住民の認識と満足度から検証したものであり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 ブラッシュアップ研修に関する 5 つの項目について、その妥当性、実行可能性、継続性について質的なプロセス評価を行った。また、研修開始前と開始 2 年後に構成的質問紙を用いた面接調査を実施することで、住民のコミュニティヘルスワーカー活動の認識と満足度について量的評価を行い、市街地と遠隔地を比較分析した。医療資源が乏しく、保健医療サービスへのアクセスも困難である地域において、コミュニティヘルスワーカーに対するブラッシュアップ研修の効果を経験的・量的に検証したものであり、研究手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、コミュニティヘルスワーカーの機能および役割に関する住民の適切な理解が向上し、ブラッシュアップ研修の有効性が示された。また、質的評価によって、コミュニティヘルスワーカーが適切な機能や役割を継続的に発揮するために、地域保健局や地域病院などがかわる支援の在り方や手法についての示唆が得られた。</p> <p>以上のように、本論文は医療資源の乏しい地域における人材の活用及び育成に関する研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p> | | | |